

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↗ 3,102	2,300	百日咳	↘ 0	1
RSウイルス感染症	↘ 51	62	ヘルパンギーナ	↘ 6	13
咽頭結膜熱	↗ 47	45	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↘ 3	4
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↘ 96	117	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↘ 696	809	流行性角結膜炎(はやり目)	↘ 10	20
水痘	↘ 40	64	細菌性髄膜炎	↘ 0	2
手足口病	↗ 59	53	無菌性髄膜炎	↗ 1	0
伝染性紅斑(りんご病)	↗ 4	3	マイコプラズマ肺炎	→ 1	1
突発性発しん	↘ 30	26	クラミジア肺炎	↘ 0	1
			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	→ 2	2

報告が多い感染症

- インフルエンザ
- 感染性胃腸炎
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

大きな流行が発生又は継続しつつある地域

- 咽頭結膜熱 : 菊池
- 感染性胃腸炎 : 有明、山鹿、菊池、宇城
- インフルエンザ : 山鹿、菊池、八代、人吉、宇城、熊本市、阿蘇、有明、天草

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
熊本市保健所	904	10	11	40	158	5	20	4	13			2		8		1				1
山鹿保健所	124	1			81	4	1		1				*	*						
菊池保健所	418	7	25	26	135	7	10		4		3									
阿蘇保健所	115				8								*	*						
御船保健所	77				12								*	*						
八代保健所	330	2	4	5	40	2	2													
水俣保健所	8	1		3	7	1							*	*						
人吉保健所	407	14		4	38	4	9		3				*	*						
有明保健所	273	6	2	2	121	11	5		6											1
宇城保健所	211	6	3	15	56	4	6						*	*						
天草保健所	235	4	2	1	40	2	6		3		3	1		2				1		
計	3,102	51	47	96	696	40	59	4	30		6	3	0	10	0	1	1	0		2

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上
インフルエンザ	3102	6	41	122	114	146	194	244	235	236	247	236	626	83	94	204	118	60	46	26	24
小児科定点年齢	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上						
RSウイルス感染症	51	13	11	15	7	3	1	1													
咽頭結膜熱	47		4	10	6	5	11	3	2	1	2	1	1		1						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	96			1	6	10	13	14	12	15	9	6	10								
感染性胃腸炎	696	7	31	80	46	54	53	57	48	42	34	35	112	32	65						
水痘	40		2	7	12	6	5	2	2	1	2	1									
手足口病	59		2	23	18	7							2								
伝染性紅斑	4			1				1	1	1											
突発性発しん	30	1	16	12	1																
百日咳	0																				
ヘルパンギーナ	6			2	1	2					1										
流行性耳下腺炎	3				1	1		1													
眼科定点年齢区分	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0																				
流行性角結膜炎	10					1							1			3	2	1	2		
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0																				
無菌性髄膜炎	1		1																		
マイコプラズマ肺炎	1																	1			
クラミジア肺炎	0																				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	2	1	1																		

インフルエンザが警戒レベルを超えました

今週のインフルエンザの報告数は3,102件となり、警戒の基準値を超えました。地域別では、御船、水俣を除く地域が警戒レベルです。例年、1月下旬から2月上旬にピークを迎えますので、ちょうど流行のピークにあると思われる。学校や幼稚園からも学級・学年閉鎖が多く報告されています。インフルエンザの流行期は受験シーズンでもあるので、以下の感染予防対策をしっかりと行いましょう。

インフルエンザにかかると、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛等全身の症状が突然現れます。併せて普通の風邪と同じように、のどの痛み、鼻汁、咳等の症状も見られます。お子様ではまれに急性脳症を、御高齢の方や免疫力の低下している方では肺炎を併発するなど、重症になることがあります。

~インフルエンザにかからないために~

- 1.外出後の手洗い**
流水・石鹸による手洗いはインフルエンザウイルスを除去するために有効な方法です。アルコール製剤による手指衛生も有効です。
- 2.咳エチケット**
[1]咳やくしゃみを他の人に向けて発しないこと、
[2]咳やくしゃみが出るときはできるだけマスクをすること、
[3]手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗うこと(等)を守るを心がけてください。
- 3.十分な休養とバランスのとれた栄養摂取**
体の抵抗力を高めるために、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取を日ごろから心がけましょう。
- 4.人混みや繁華街への外出を控える**
インフルエンザが流行してきたら、特に御高齢の方や基礎疾患のある方、妊婦、疲労気味、睡眠不足の方は、人混みや繁華街への外出を控えましょう。

